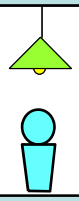
気象庁震度階級関連解説表（概要）

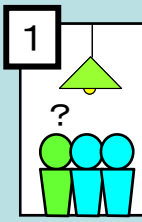
（案）

0



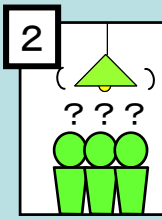
人は揺れを感じない

1



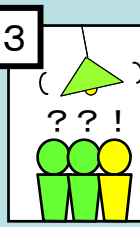
屋内で静止している一部の人がわずかに揺れを感じる

2



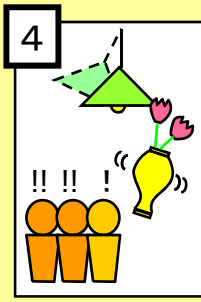
屋内で静止している多くの人が、揺れを感じる

3



屋内にいるほとんどの人が揺れを感じ、びっくりする人もいる

4

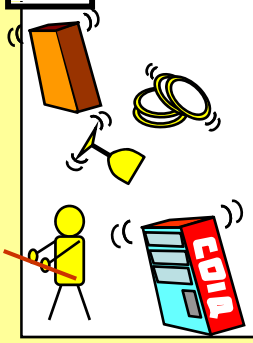


- かなり多くの人がびっくりし不安を感じる。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、座りの悪い置物が、倒れることがある。
- 電線が大きく揺れる。

5弱

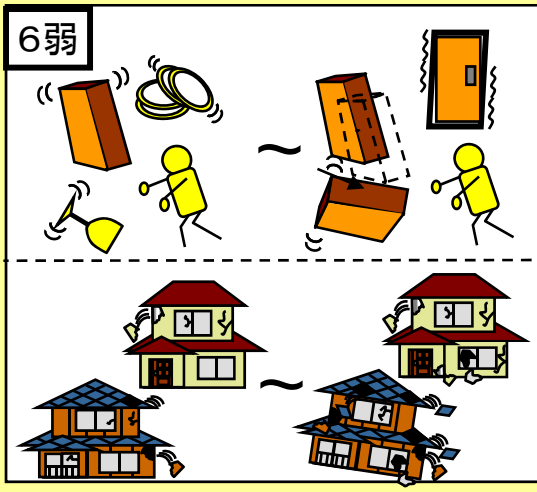
- 多くの人が、物にすがりたいと感じる。
- 電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある
- 食器類書棚の本が落ちることがある。
- 鉄筋の入っていないブロック塀は崩れることがある。

5強



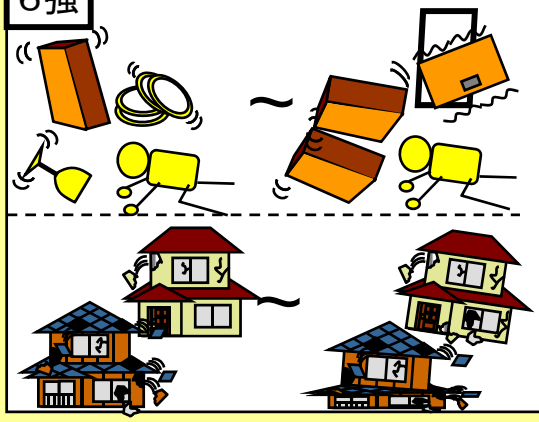
- 物につかまらないと歩けない。
- 棚にある食器類の多くが落ちる。
- タンスなど大型の重い家具が倒れることがある。
- 据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。

6弱



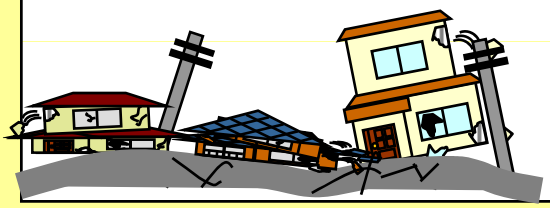
- 立っていることが困難になる。
- 固定していない大きい家具の多くが移動、転倒する。
- 開かなくなるドアが多い。
- かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
- 山間部では、地割れや山崩れなどが起こる。

6強



- 立っていることができず、はわないと動くことができない。
- 揺れにほんろうされ、飛ばされる。
- 鉄筋の入っていないブロック塀のほとんどが崩れる。
- 木造建物で耐震性の低いものは、倒れるものが多くなる。

7



- 耐震性の高い木造建物、鉄筋コンクリート造の建物でも、傾くことがある。
- 大きな地割れ、地すべりや山崩れが発生し、地形が変わることもある。
- 広範囲にわたって被害が予想される。

地震に遭遇したら

- ●ぐらっときたら身の安全
- ●揺れがおさまってから、あわてず火の始末
- ●あわてた行動、けがのもと
- ●あわてて外に飛び出さない（落下物や車が危険）
- ●近づくな、門や塀、自動販売機やビルのそば
- ●海岸でぐらっときたら高台へ
- ●不意の地震に日頃の用意